

一般財団法人 みやぎ建設総合センター

～東北ブロックの人材育成の取組みについて～

地域連携ネットワーク構築支援事業

予備調査 平成27年1月13日～平成27年6月12日

実施事業 平成27年8月1日～平成29年7月31日

建設労働者緊急育成支援事業

平成27年8月1日～

報告内容

(1) 実施体制・会議

(2) 新・みやぎ建設産業振興プラン

(3) 実施事業・計画

(4) 広報活動

地域連携ネットワーク構築事業体制

みやぎ建設総合センター

宮建協

東北建設業
協会連合会

宮城県人材確保・育成推進
協議会

東北6県 担い手確保・育成
検討委員会

訓練施設の活用方策検討

- 既存施設の活用
- 新規施設の可能性

教育機関との連携

- 大学との連携
- 小中高校での建設技能
の紹介・実習の検討

処遇改善

建設業及び建設技能のPR方策検討
一般向け、学生向け

東北6県 担い手確保・育成コンソーシアム検討委員会

平成28年12月8日予定
宮城県建設産業会館

東北地方整備局 企画部 技術管理課
建政部 計画・建設産業課
東北技術事務所

東北工業大学 工学部 都市マネジメント学科

青森県建設業協会
岩手県建設業協会
宮城県建設業協会(座長)
秋田県建設業協会
山形県建設業協会
福島県建設業協会
東北建設業協会連合会(事務局)

東北建設専門工事業団体連合会

みやぎ建設総合センター

アドバイザー 建設業振興基金

建設技能者・技術者の確保育成 建設技能・技術の継承

- 地域連携ネットワークによる教育訓練体系の構築
- 東北6県の技能者・技術者と行政との意見交換会
- 入職内定者の合同職業訓練のあり方
- 学生との懇談会
- 建設産業の正しい理解と重要性についての広報活動と入職促進活動
- 教育機関との連携によるインフラの必要性のPR
- 労働環境整備と処遇改善等のための提言

- ・東北技術事務所の活用を推進
- ・大学と産業界の連携強化を推進
- ・東北での基幹訓練拠点を検討

宮城県建設産業人材確保・育成推進協議会

平成28年10月13日
宮城県建設産業会館

東北地方整備局 東北技術事務所

宮城県 土木部 事業管理課
教育庁 高校教育課

宮城労働局 職業安定部

ポリテクセンター宮城

東北工業大学 工学部(座長)

宮城県建設業協会
宮城県建設産業団体連合会
宮城県建設専門工事業団体連合会
東北建設業協会連合会
日本建設業連合会東北支部
みやぎ建設総合センター(事務局)

アドバイザー 建設業振興基金

教育訓練体系の構築・PRの方策

○地域連携ネットワークによる教育訓練体系の構築

○東北技術事務所を活用した訓練

○ポリテクセンター宮城を活用した訓練

○技能職・技術職 合同新入社員研修

○高校生の建設系資格取得の推進

○高校普通科での建設技術・技能の実習等の検討

○建設技能パンフレット作成

○躯体系多能工養成の方策検討

○技能・技術訓練講師の養成

○各団体のイベント情報などの集約

・建設業の休暇と定着率の課題

・スキルと待遇の課題

・学生と親の双方にPRする方策

・新・みやぎ建設産業振興プランで位置づけ

報告内容

(1) 実施体制・会議

(2) 新・みやぎ建設産業振興プラン

(3) 実施事業・計画

(4) 広報活動

新・みやぎ建設産業振興プランの策定

新・みやぎ建設産業振興懇談会
(事務局 宮城県土木部)

平成27年7月～平成28年3月

- ・宮城県土木部
- ・仙台市都市整備局
- ・宮城労働局
- ・東北大学
- ・宮城県建設業協会
- ・宮城県建設専門工事業団体連合会
- ・みやぎ中小建設業協会
- ・みやぎ建設総合センター
- ・東日本建設業保証 宮城支店



新・みやぎ建設産業振興プランの体系図

基本目標

施策

主な具体的取組 ※赤字は重点取組事項

「伸びる」
技術力・技能力を

技術力・専門力の
強化及び評価

経営基盤の
強化及び評価

建設産業の健全化

「安心な」
生活環境

地域社会の維持、
安全・安心の確保

公共施設等の総合的
かつ計画的な管理の
推進

民間住宅リフォーム
増加への適切な対応

「暮らし」
の質を高める

技能者の
処遇改善の徹底

教育訓練の充実

現場の
省力化・効率化

建設産業の
戦略的広報

〈1〉地域の関係者が一体となった教育訓練体系の構築

◆「地域連携ネットワーク」を活用した教育訓練の充実

〈1〉新技術・新工法の活用促進

◆総合評価落札方式における現場の生産性向上に向けた評価方法の導入

〈2〉多能工の効率的な活用

◆多能工の育成・活用・適切な処遇の確保

〈3〉施工時期の平準化、適正工期の設定

◆債務負担行為やゼロ県債の有効活用

◆着手日を指定した余裕を持った工期設定

〈4〉設計・施工における受発注者間の円滑なコミュニケーションの確保

◆三者会議の拡大

◆工事情報共有システムの普及促進

〈1〉産学官が連携した未就学児、小・中学生、高校生等及びそれらの家族に向けた積極的な広報活動の展開

◆「地域連携ネットワーク」を活用した積極的な広報活動の展開

〈2〉構造物を活用した技術者等の役割の発信

◆構造物の建設に関係した技術者等の名前を記した銘板の設置促進

- (2) 建設業向け技能者の活用促進
◆総合評価落札方式における登録基礎技能者配置の加点評価の導入
- (3) 社会保険未加入対策の更なる強化
◆河津業者・一次下請業者の社会保険加入促進
◆法定福利費を内訳明示した見積条件の普及促進
◆ダンピング対策の強化
- (4) 近入札制度基準価格及び失格判断基準の適切な設定・活用
- (5) 技能者の雇用形態の明確化・安定化
◆技能者の専任雇用・月給制を原則とする雇用形態の普及
- (6) 計画的な休暇取得の推進
◆週休2日モデル工事の実現
- (7) 市町村への担い手3法の継承の徹底
◆発注者協議会を通じた市町村への認知

「守る」
防災・減災

東日本大震災を踏まえた大規模災害発生時の対応確保

東日本大震災で調じた施工確保対策の適切な対応

東日本大震災を踏まえた建設産業の信頼の確保・強化

- (1) 地域の災害対応力の強化
◆地域建設企業等との防災協定の拡充
◆地域建設企業等のBCP策定に係る普及啓発

- (1) 今後の建設需要が置かれる事業環境を踏まえた施工確保対策の適切な対応
◆建設資材の安定供給に向けた連携確保

- (1) 産学官が連携した建設産業の東日本大震災活動実績等の積極的な広報
◆「地域連携ネットワーク」を活用した東日本大震災活動実績等の積極的な広報

新・みやぎ建設産業振興プランの推進

新・みやぎ建設産業振興プラン 推進協議会

(事務局 宮城県土木部)

平成28年9月～

- ・宮城県土木部
- ・宮城県建設業協会
- ・宮城県建設専門工事業団体連合会
- ・みやぎ中小建設業協会
- ・みやぎ建設総合センター

新・みやぎ建設産業振興プラン推進協議会

担い手の確保・育成部会

(事務局 宮城県土木部)

平成28年11月～

- ・処遇改善
(社会保険、休暇・給与体系)
- ・訓練施設の充実

広報連携部会

(事務局 宮城県土木部)

平成28年11月～

- ・県と連携した現場見学の拡充
- ・小・中学校 保護者への広報

地域連携ネットワークでの課題も具体的に検討

報告内容

(1) 実施体制・会議

(2) 新・みやぎ建設産業振興プラン

(3) 実施事業・計画

(4) 広報活動

(3) 実施事業・計画

① 技術者・技能者合同新入社員研修

② 躯体系技能者育成訓練

③ 高校新卒者技能訓練

④ 技能者向けCAD研修計画

技術者・技能者合同新入社員研修



平成28年4月3日～4日
宮城県建設産業会館

技術系 104名
技能系 36名

- ・ビジネスマナー
- ・建設業について
- ・土木、建築、事務部門別研修
- ・安全教育

新入社員研修 意識調査結果

① 建設業を希望した理由は？

- ・ 土木、建築に興味あり 50 %
- ・ 復興に係わりたい 34 %

家業が建設業 12%

② 入社を決めた方法は？

- ・ 学校の推薦 37 %
- ・ 自分で決めた 42 %

③ 建設業についての印象は？

- ・ 社会に役立つ職業 69 %
- ・ 働き甲斐のある職業 57 %
- ・ 休日が少ない 20 %
- ・ 危険な職場環境 17 %

④ どのような方向を目指すか？

- ・ 技術を身につけ現場で活躍 74 %
- ・ 独立したい 13 %

建設労働者緊急育成支援事業 技能者育成訓練

未就職者対象

訓練費用、交通費、宿泊費、資格取得費用 無料

H27年度実績

○型枠・鉄筋コース 2回

修了者数

宮城 12名、福島 1名、東京 1名

H28年度実績

○型枠・鉄筋コース 4回(うちコンクリート打設あり 1回)

○重機オペコース 2回

修了者数

宮城 24名、青森 3名、福島 2名

東京 2名、北海道 1名

訓練環境の確立(徒歩圏内)



多賀城駅
仙台駅から仙石線で22分

既存訓練施設の活用

- ポリテクセンター宮城
- 東北技術事務所
- 日立建機教習センタ



日立建機教習センタ

建設労働者緊急育成支援事業 東北技術事務所を活用したコンクリート研修



コンクリート打設未経験者向け
テキスト作成

- ・コンクリート打設おける注意点
- ・コンクリートの不具合実例
- ・コンクリート点検の基礎

コンクリート打設の連続写真または
映像が必要

建設労働者緊急育成支援事業 高校新卒者訓練



高校新卒者(建設業就職予定者)
訓練費用、交通費、宿泊費、資格取得費用 無料

H27年度実績(H28.3.3~10)

新卒者スキルアップ訓練 1回

- 車両系建設機械コース
- 玉掛け・小型移動式クレーンコース
- ・社会人マナー、コミュニケーション能力向上、安全教育
- ・コンクリート構造物 学習(東北技術事務所)

修了者数

宮城 15名 秋田 34名 福島 24名

技能訓練実施で抽出された検討課題

○ 適正な訓練期間、訓練量の検討

○ 訓練生のモチベーション維持

○ 研修カリキュラム、手法等の検討会（H28.1～）

・東北地方整備局 企画部 技術管理課

・東北技術事務所

・東北建設業協会連合会

・みやぎ建設総合センター

○ 東北技術事務所を活用した教員研修

(3) 実施事業・計画

① 技術者・技能者合同新入社員研修

② 躯体体系技能者育成訓練

③ 高校新卒者技能訓練

④ 技能者向けCAD研修計画

技能者向けCAD研修計画

鉄筋、型枠 技能者のCAD研修検討

JW_CADの基本操作
ポリテクセンターで研修



応用編として各自の鉄筋・型枠の
図面を作成
コンソーシアムの研修として企画

月1回土曜日研修
継続して集合困難

レイヤ分けの統一
鉄筋・型枠 拾いだし 加工帳作成
カスタマイズについて学習
テキストを検討

報告内容

(1) 実施体制・会議

(2) 新・みやぎ建設産業振興プラン

(3) 実施事業・計画

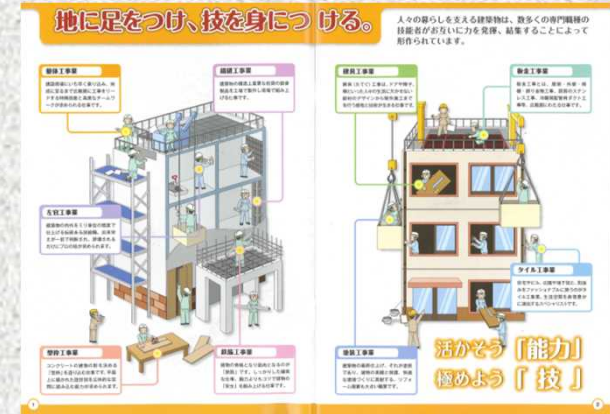
(4) 広報活動

建設技能を紹介するパンフレットの作成

- 東北建設解体工業会
〒984-0014 仙台市青葉区六丁の目元町2-16
TEL.022-266-4821
- 宮城県型枠工業協同組合
〒980-0011 仙台市青葉区上杉一丁目7-30
TEL.022-265-0887
- 宮城県鉄筋工業協同組合
〒983-0845 仙台市青葉区通水宮二丁目11-12
TEL.022-263-9125
- 宮城県機械工業協同組合
〒984-0051 仙台市青葉区新寺一丁目6-304
TEL.022-266-4492
- 宮城県左官工業組合連合会
〒980-0802 仙台市青葉区二丁目1322 丸山ビル3F
TEL.022-265-5095
- (一社)日本塗装工業会宮城県支部
〒980-0014 仙台市青葉区本町一丁目12-31
TEL.022-212-1054
- 宮城県タイル協会
〒984-9851 仙台市青葉区東町三丁目5-2
TEL.022-231-4511
- 宮城県板金工業組合
〒983-0031 仙台市青葉区小瀬二丁目56-25
TEL.022-389-2844
- 宮城県建具業連合会
〒984-0826 仙台市青葉区高森五丁目9-16
TEL.022-266-0048

一般社団法人 宮城県建設専門工業団体連合会
〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉一丁目7-30 エグゼクティブビル3F
一般財団法人 みやぎ建設総合センター
〒980-0024 宮城県仙台市青葉区文通町2-48

お問い合わせ
【(一社)宮城県建設連】
TEL.022-265-0887



教育機関等に配布

学校での建設技能紹介を検討

東北ブロックでのPR活動

○ 4月 東北整備局との意見交換 人材育成

○ 7月 フォーラム開催 550名参加

○ 8月 i-Con勉強会開催

○ 11月 東北工大生との意見交換

○ 11月 東北整備局との意見交換 処遇改善

地域連携ネットワーク事業 今後の課題

- 総合高校・普通高校での建設技術・技能の紹介
 - ・建設技能職・技術職の紹介(先生・生徒・親)
 - ・建設系の資格について(先生・生徒・親)
- 小中学校での建設業の紹介・現場見学
- 東北における中心的な建設技能の訓練施設
- 工業系大学との連携
 - ・大学保有建設技術の民間活用・施設活用検討
 - ・東北技術事務所を活用した研修(技術者・技能者・教員)
- 広報活動の拡大